

平成24年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
追跡評価結果

研究課題名	硬 X 線撮像観測による非熱的宇宙の研究
研究代表者名 (所属・職)	國枝 秀世 (名古屋大学・大学院理学研究科・教授)

【評価意見】

本研究の一つの柱である多層膜硬 X 線望遠鏡の実現については、所期の目標を達成したといえる。この技術は Astro-H の主観測装置として、現在結実に向けて進行中である。Astro-H 打ち上げの暁には、非熱的宇宙の研究に、世界の研究者による格段の研究成果が期待できるだろう。その意味で高く評価する。

一方、並行して行われるべき非熱的宇宙の研究については、研究への努力、研究成果ともにやや不十分である。研究代表者も含め、6 人から成る研究組織なのだから、タスクを分担してでも、本研究グループの開発した装置を用いれば、非熱的宇宙の研究にどんなテーマ、戦略が考えられるか、実際の「Suzaku」衛星のデータ解析などを通して新たな視点などを提起すべきであった。その意味で、本研究成果から生み出された効果・効用や波及効果の大きさにはやや疑問があるが、装置を活用した今後の科学研究成果に期待する。